

結婚式場探しと指輪探しでもれなく Check! マイナビ ウエディング

最大 62,000円分の商品券がもらえる!

新聞購読 お申し込み +500円で、デジタルも

デジタル版 お申し込み PC、スマホで

愛読者セット デジタル毎日



写真 動画 有料会員向け

検索 毎日新聞社 総合案内 宅配申込 会員メニュー ログイン

トップ 社会 政治 経済 国際 サイエンス スポーツ オピニオン カルチャー ライフ 教育 地域 English 紙面ビューアー

総合 事件・事故・裁判 気象・地震 話題 皇室 LGBT 訃報 人事 東日本大震災

都市対抗【無料ライブ配信中】日立製作所vs三菱重工名古屋

詳細

[PR] カードローン/大手10社一括比較! 24時間ネット申込

日本財団

関連ニュースはこちら

聴覚障害者向け電話リレーサービスをインフラに

毎日新聞 2017年7月17日 10時00分 (最終更新 7月17日 10時00分)

社会 話題 速報

日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

文字 終了



手話による電話リレーサービスの画面イメージ=日本財団提供

[PR]

聴覚障害者に代わってオペレーターが電話をかける日本財団の「電話リレーサービス」サイトが7月に一新され、使いやすくなった。日本財団では「聴覚障害者支援にとどまらず、高齢社会を見据えたインフラとして電話リレーサービスを位置づけてほしい」と訴えている。【米田堅持】

【文字による電話リレーサービスのイメージ】

<障害者差別解消法> 施行1年 道半ば 罰則なく、理解進まず

<ヤフー> 障害者に特別休暇制度 通院や入院に対応

<NHK> 「障害者を感動話に」方程式批判

増え続けるニーズ

電話リレーサービスとは、電話をかけたい聴覚障害者が、テレビ電話を通して手話や文字で相手先や通話内容をオペレーターに伝え、オペレーターが同時通訳するシステム。東日本大震災で被災した岩手、宮城、福島聴覚障害者を支援するため2011年9月にスタートし、当初は2年間で302人、573

感性を解き放つドラマティックリゾート

PARADISE CITY

韓国仁川に 2017年4月誕生

5つ星ホテル スパ コンベンション

毎日新聞のアカウント

RSS

新聞宅配申し込み

デジタル申し込み

THE WALL STREET JOURNAL.

デジタル毎日 月額3,200円(税別) 初月無料

ピックアップ

アンケートに答えるとAmazonギフトがもらえる 「毎日アンケートパネル」募集中!

市場拡大へ国の政策も後押し! 利回り6%超のインフラファンド

話題の記事

科学の森

「核のごみ」揺れる台湾 離島に保管、島民は移転要求

世界透視術

習主席「朝鮮半島は中国の一部だった」発言のキナ臭さ

Timeline

質問なるほど

101

核のごみ処分 海外では? = 回答・岡田英

3

なるほど

最近はやっている手足口病、どんな病気?

九州豪雨

「今、流されている」不明の女性電話で「さよなら」 夫は遺体で発見

powered by CXENSI

カ月で5061人、13872件の利用がある。ファクスを使った同様のシステムに比べ、即時性、双方向性に優れているという。

日本財団によると、聴覚障害の障害者手帳保有者は約36万人だが、高齢者を含めた推定難聴者は1000万人以上いるとみられ、今後も増加が見込まれることから、さらに需要は高まると予測している。

足りない理解と支援

聴覚障害者にとって、電話が使えないと仕事に制約が出るばかりでなく、日常生活における連絡や問い合わせ、予約サービスの利用など、常に家族や友人の助けが必要となり、心理的な負担も大きい。一方で、電話リレーサービスからの電話はセールスや就職あっせんなどと間違えられてしまうこともあり、世間一般の理解も不十分だという。

電話リレーサービスへの公的支援も不足している。日本財団は今年度事業費を3億1000万円と見込んでいるが、厚生労働省の人件費に対する補助金は1000万円強。日本財団は「スウェーデンなどでは国が経費を負担しているし、ノルウェーやタイのように電話会社が負担する国もある」としている。

緊急通報への対応も課題

電話リレーサービス自体にも課題はある。オペレーターを抱える民間事業者は全国に6カ所あるが、運用時間は長い事業者でも午前8時から午後9時までで、24時間対応ではない。また、通訳者やオペレーターの責任や立場が明確ではなく、すべての聴覚障害者をカバーできる体制にもなっていない。さらに、警察、消防、海上保安庁などと提携していないため、110番や119番など緊急通報には原則として対応しない。メールやウェブでの緊急通報を受け付けている警察、消防もあるが、電話リレーサービスのような利便性があるとは言い難いのが実情だ。

6月3日に愛知県の三河湾沖で聴覚障害者4人が乗ったボートが故障、転覆した事故では、電話リレーサービスに海保への救助を要請する連絡が入った。この時は沖縄の事業者が取り次いだ。事故現場を管轄する第4管区海上保安本部へ連絡し、4時間後に全員が救助された。

日本財団では「聴覚障害者が気兼ねなく生活するためのインフラとしてだけでなく、高齢による難聴者の増加で、電話リレーサービスのニーズは増えていく。民間のニッチな事業ではなく、公共サービスの一つとして位置づけてほしい」と話している。

デジタル毎日 Summer Campaign! 月々1,000名様 合計2,000名様に当たる!!

デジタル毎日を新規ご購入の方に  **¥3,000 プレゼント!**

Amazon, Amazon.co.jp, Amazon.co.jp © 2017. Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標または登録商標です。

関連記事

都LED交換事業 障害者の代理、不可「本人確認できぬ」

毎日イノベーションフォーラム参加者募集！小池都知事も登壇
アンケートに答えてAmazonギフト券をもらおう！
意外と知らないクレジットカードの安全な使い方～政府広報

毎日新聞ニュース Messenger

Facebook Messengerより
あなたに合ったニュースをお届けます。



powered by BOT TREE

5 中国

消されたブーさん…習主席と体形対比のSNS投稿で

Send to Messenger

 柏木 愛由美 Not you?

編集部のオススメ記事

残業しない社員に「報奨金」

企業で残業削減の取り組みを進めると、「残業代が少なくなる」…

カルタヘナ法とは

◇遺伝子組み換え品種使用を規制 国の承認必要 なるほどリ…

熱戦続く世界パラ陸上

デーリーハイライト動画を公開中

 のマークについて

今週のおすすめ

安心安全な食を目指し効能追究

熊本の食素材の機能性研究に取り組み、食品や食材などの有益性を調べる



人気推理作家が語る

「嗜好と文化」私のポリシー
vol.76 薬丸岳さん



自分の考えを文字で伝える！

第17回インターネットによる高校生小論文コンテスト

